

令和7年度消防訓練を実施しました

名古屋港埠頭㈱は、空見本社（フェリー埠頭旅客ターミナルビル）において、令和7年11月6日（木）に火災発生を想定した初期消火訓練、通報連絡訓練、避難誘導訓練を内容とする消防訓練を実施しました。

訓練は、テナント間の連携強化及び発災時の災害軽減を目的とし、ターミナルビルに入居する全事業所で43名が参加しました。訓練後、自衛消防隊長より「命を守る」ことが災害時に最も大切で、今日の訓練をきっかけに再度「防災意識」を職場全体で共有してほしいとの講評が行われ、引き続き、消火器の取扱訓練も行いました。

また、金城ふ頭の船舶通航情報センターに入居する弊社港湾管理事務所においても、令和7年11月18日（火）に入居する全事業所の41名が参加し、消防訓練を実施しました。

引き続き、社内全体の防災意識の向上を図ってまいります。

【消防訓練の様子】



西側階段を利用して避難



各テナントによる避難報告



自衛消防隊長による講評



消火器の取扱訓練